熊本市立植木北中学校学校だより　第２６号

日　進　月　歩

令和７年 11 月 11 日（火）
校長　坂本正二
「可能性は無限大（∞）」
植木北中 HP→

ナイストライに行ってきました

10月28日(火)から30日(木)までの3日間、2年生は地域の事業所で職場体験を行う「ナイストライ」に参加しました。この活動は、働くことの意味や社会との関わりを学び、将来の進路を考えるきっかけとなることを目的に、毎年実施されています。子どもたちは、それぞれの事業所で明るく前向きな姿勢で活動し、指示をしっかり期と聞いて行動していました。事業所の方々からも「礼儀正しく、意欲的だった」と多くのお褒めの言葉をいただきました。高く評価していただき、ありがたい気持ちと同時に誇らしい気持ちになりました。この体験を通して、子どもたちは挨拶やマナーなどの基本的な礼儀を学び、働くことの大変さややりがいを実感したことと思います。将来の自分の姿を思い描き、学習への意欲につながった人もいるはずです。今回の経験を学校生活や進路選択にしっかりと生かしてほしいと思います。

【生徒の感想】

○CD・DVD・書籍のレンタル・販売店で体験

仕事において、周り人との関係づくりがとても大切だと感じました。わからないことを聞き合ったり、助け合って接客したりしたことが印象に残っています。今回の体験で、自分の考え方や取り組み方を見つめ直すことができました。

仕事の量がとても多くて驚きましたが、スタッフの方々は一つひとつ丁寧に作業されていて、僕たちにも優しく教えてくださいました。その姿に感謝と尊敬の気持ちを持ちました。これからは、周りの意見を取り入れたり、広い視野で物事を考えたりして、より充実した生活を送りたいです。

○温泉旅館で体験

旅館での体験では、お部屋やお皿の準備、掃除、お客様のお見送りなど、どの仕事にも見えない気遣いが込められていて、お客様が喜んでいる様子がとても印象的でした。働くことのやりがいや楽しさを感じることができました。教えていただいた「見えないところでの気遣い」を忘れずに、普段の生活でも人のために行動できるよう意識していきたいです。私も、楽しみながら人の役に立てるような仕事ができるよう、これからも頑張りたいと思います。

命に思いを馳せる　～避難訓練より～

11月５日、学校で避難訓練を行いました。午前中は「シェイクアウト訓練」を実施しました。これは地震を想定した訓練で、緊急放送を聞いてすぐに安全な行動を取ることを目的にしています。子どもたちは放送を静かに聞き、机の下に素早く身を隠すことができていました。午後は熊本北合志警察署からスクールサポーターの方2名を講師としてお迎えし、「不審者対応の避難訓練」を行いました。不審者が学校に侵入したという想定のもと、子どもたちは教室の出入り口を施錠し、バリケードを作って侵入を防ぎました。男性職員はさすまたやハチ撃退スプレー、椅子などを使って不審者の行動範囲を制限し、連携して短時間で制圧・確保することができました。訓練の後は、体育館で講話がありました。講師の先生からは、平成13年に起きた大阪教育大学附属池田小学校の事件について、被害者遺族の手記が紹介されました。安全なはずの学校で命を失った子どもたち、その悲しみに向き合う母親の気持ち、そして少しでも遺族の悲しみを和らげたいと尽力した病院関係者の思いやりの行動などが語られ、生きていることの尊さを改めて考えさせられるお話でした。子どもたちは静かに、真剣な表情で講話を聞いており、命の大切さをしっかりと感じていたようです。スクールサポーターの方からは、「不審者対応の訓練では、凄惨な事故によって命を失った幼い子どもたちや先生、そしてその遺族に思いを馳せてほしい」と語られました。毎年行っている訓練ですが、今年は特に、その意味を考える機会になりました。子どもたちが命の大切さを心に刻み、今後の行動に生かしてくれることを願います。